

普及活動情勢報告（令和4年4月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

部会全体の収量増加を目指して ～土佐甘とう部会作付検討会～



栽培計画について話し合う生産者

3月24日、JA高知県れいほく園芸部土佐甘とう部会は作付検討会を開催し、部会員14名が参加しました。

JAからは、昨年度の栽培実績と今年度の計画、先進地の生産状況について説明がありました。

普及所からは、定植前後の栽培管理や栽培初期の病害虫対策について周知しました。

部会員が増え、増収に向けた意見交換がこれまで以上に活発に行われました。

今後も普及所は、生産者の収量・所得の増加につながるよう、JAと連携して栽培指導を行っていきます。

「嶺北地域農業振興計画」を刷新し、一丸となって地域の農業を推進しよう ～嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会～



農業振興計画(案)について合意

4月20日に嶺北農業改良普及所で令和4年度第1回嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会が開催され、部会員等14名が参加しました。同部会は嶺北地域の行政、農業関係団体、普及所で組織され、地域の農業振興に向け、れいほく八菜等販売促進、担い手確保、有望品目・栽培技術の導入等多様な事業に取り組んでいます。

今回は昨年度から検討を重ねてきた「嶺北地域農業振興計画」(案)を共有し、新たな農業振興の目指す方向と手法が関係機関で合意されました。6月に開催される協議会で管内首長はじめ委員に説明したのち策定される予定です。

普及所は農業部会のメンバーとして、関係機関と連携して地域の農業振興に努めます。

便利な機器を使って省力化を！ ～ゆず部会接ぎ木・剪定講習会～



チッパーを実演する参加者
「これはぜひ使いたい！」

4月13日、土佐町でJA高知県れいほく園芸部ゆず部会接ぎ木・剪定講習会が開催され、生産者、JA、普及所計7名が参加しました。

篤農家による接ぎ木と、電動剪定バサミや電動チェーンソー、チッパーなどの省力機器を使用した剪定の実演後、普及所からは今後の病害虫防除を含む栽培管理指導を行い、最後は参加者全員で今後のユズ栽培について情報交換しました。実演を見た参加者からは「電動チェーンソーは軽いし作業が速くてラクになりそう。」「剪定した枝の処理が大変なのでチッパーを導入したいが高額。地域で購入できないだろうか」という声があがり、関心の高さがうかがえました。チッパーについては導入の検討をすすめていくことになりました。

今後も普及所は、部会全体の栽培技術向上や省力化を目指して、関係機関と協力しながら講習会等を実施します。

花きの安定生産を目指して ～花卉部会現地検討会～



意見交換を行う生産者

4月14日、JA高知県れいほく花卉部会が現地検討会を開催し、生産者、JA、普及所計13名が参加しました。

各生産者の栽培状況を確認しながら意見交換が行われ、生産者らは各ほ場でユリやトルコギキョウ等の栽培管理について情報を交換しました。特に若手農家のほ場では育苗の方法や水管理等の助言がされるなど、若手の技術向上に意欲的な姿勢が見られました。

今後も普及所はJAと連携して、生産者同士の意見交換の場づくりを続け、嶺北産花きの高品質安定生産を支援していきます。